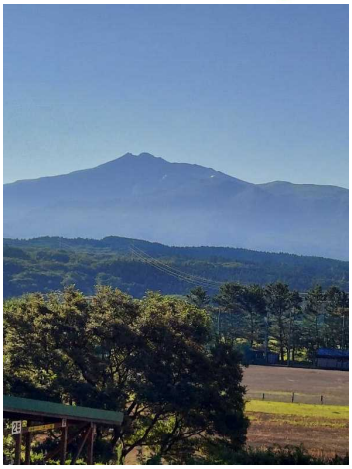
鳥　海　讃　歌

ＧＴＨ通信　第６４号　令和４年３月２９日（火）
校長室より

霊峰鳥海に感謝、新たな出会いへ！

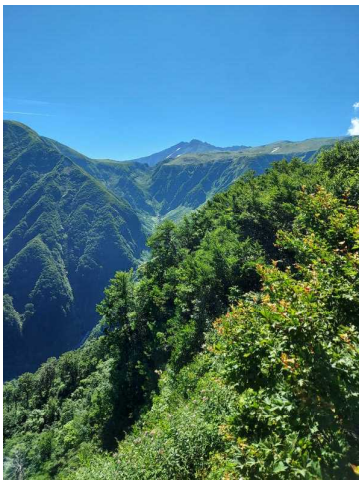


２８日（月）に退任式・離任式がありました。一人ひとり勤務年数は違っても、仁賀保高校に春風や薫風を吹かせてくれました。ありがとうございました。
三つのアングルで示した霊峰鳥海は、上から、仁賀保高校から遠景、鉾立から奈曽渓谷を見上げた先にある山頂、今年度復活した全校鳥海登山のゴールとなった七五三掛の写真です。三つの風景が皆さんの希望に満ちた未来を祝福しております。

◎池田新也技能主任（定年で御退職、由利高校で再任用）

御退職誠におめでとうございます。本校には通算１０年、技師として通算２６年間、お疲れさまでした。仁賀保高校一期生と役員として、令和９年に控えている創立５０周年に向けて、同窓会バックアップをお願いします。

◎木内梢主査（岩城小学校へ御転出）



本校に４年勤務していただきました。「事務室は学校の窓」であり、いつも笑顔で爽やかな対応をありがとうございました。新天地での活躍をお祈りいたします。

◎三浦憲二先生（本荘高校定時制へ御転出）

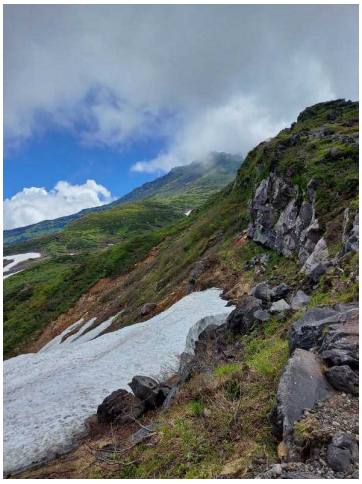
本校に９年勤務しその間、仁賀保高校の発展に大いに貢献していただきました。生徒には、人間として大切なことを力づよく説諭してくれました。ありがとうございました。

◎小林かのこ先生（由利高校へ御転出）

英語教育に関して、仁賀保高校生の実態を踏まえた的確な指導をしてくれました。１年という短い勤務でしたが、生徒目線に立った対応をしていただき、ありがとうございました。

◎原雄太先生（角館高校へ御転出）

１年間の短い期間でしたが、生徒の声に耳を傾けて、生徒の意欲を引き出し、生徒が自分の考えを持って、主体的に取り組む姿勢を育てていただき、ありがとうございました。



私は、仁賀保高校で３年間お世話になりました。令和４年度は、秋田県立博物館に勤務することになります。にかほ市との連携協定が進化して、仁賀保高校の魅力が益々地域の皆さんに理解してもらえるよう、「師友もろとも手を取りて」新しいことに挑戦してください。
私が言える事は、仁賀保高校は、誰一人取り残さず、個々の可能性を最大限引き出す教育を行っている高校だという自負です。
令和４年度は、新学習指導要領による新しい学びがスタートする節目の年です。来年度は、生徒の可能性を引き出す職員と保護者、地域の皆様が一丸となって、さらに魅力ある学校発展の期待します。
最後に、仁賀保高校の校歌にある「世の光なる人たらむ」ために何をなすべきか、常に自問自答しながら学び続けてください。
「アイコンタクト」を忘れずに！ありがとうございました。

★　**アイコンタクト（ｉｃｏｎｔａｃｔ３）**を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！
★　**メモ**をとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
★　**意識力**＝意思・意志（瞬間）＋気力（持続）です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
★　**ＧＴＨ**は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
★　**「自己有用感」**を高めてください。そのためにあなたは何に挑戦しますか？
自分が誰かの役にたつためには、**感謝**の心と**自己肯定感**を持つことが大切です！
★　**ＮＰＴ**は仁賀保高校プログラミング思考の略称です。ＮＰＴを意識して、学びを活性化しましょう。プログラミングは、**Trial＆Error**で進めましょう！
★　**「自分事」「当事者意識」**を持って取り組む仁高生に変身しましょう！